

3部 クリスチャーの成長

3章 神を知り、自分を知る

●鏡のように IIコリント3:18

「鏡のように、主の栄光を映しつつ」

当時の鏡 青銅 現代のように精巧ではない。1コリント13:12

自分という鏡。不完全さと、磨かれる（成長）ことへの希望。

成長のために、自分の不完全さを知る。不完全な自分を導いてくださる完全な神を知る。

●不完全な自分 癒しの必要

成長には癒しが必要

癒しとは何？ 救いと同じ言葉。 救われるとは、癒されること。

癒しとは、真の健康とは、神に造られた本来の人間の姿を取り戻すこと。

全人的な癒し：身体的、精神的、霊的、社会的

聖化=成長=癒し どれもプロセス、旅路。

●癒しを妨げる 内面の問題

「恐れ」と「プライド」(防衛の壁)

創世記3:10 ヨシュア記2:8～ マタイ23:25, 26

信頼力の欠如 愛されているという事実には信頼できない。

存在不安 愛されている自分(アイデンティティ)を確立できない。

承認欲求 愛されるために、自らの神のかたちを傷つける。

その結果、プライドという防衛のための城壁を高く築く。

多くの場合、幼少期の経験。人生における傷ついた経験が、影響している。

それが、父なる神との関係に影響を与えている。

●癒しの旅路

癒された自分を生きる。 1ペテロ2:21～25

癒された自分になっていく旅路。 Becoming